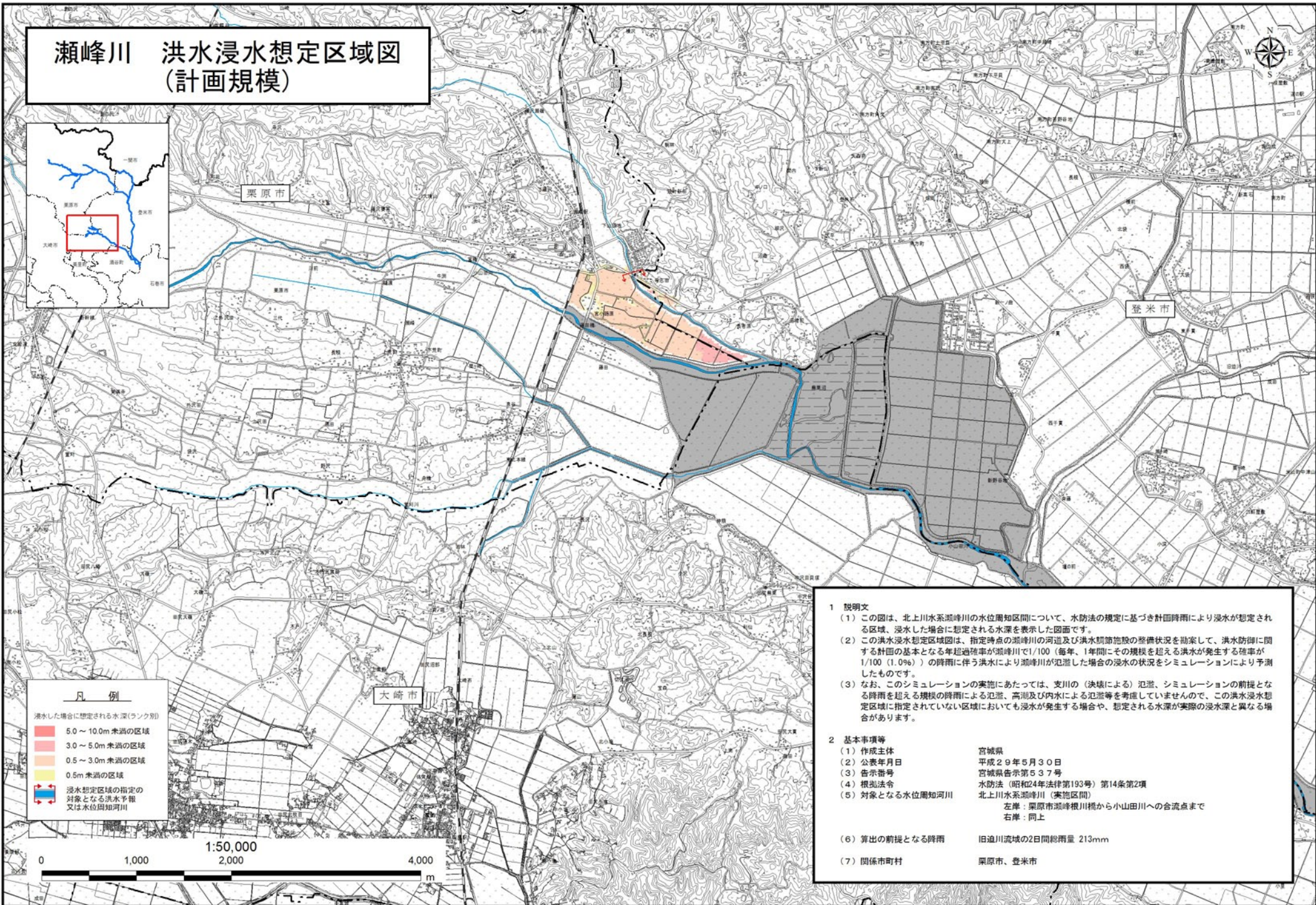


瀬峰川 洪水浸水想定区域図 (計画規模)



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

5.0 ~ 10.0m 未満の区域
3.0 ~ 5.0m 未満の区域
0.5 ~ 3.0m 未満の区域
0.5m 未満の区域

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報又は水位周知河川

1 説明文

- この図は、北上川水系瀬峰川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- この洪水浸水想定区域図は、指定時点の瀬峰川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率が瀬峰川で1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%))の降雨に伴う洪水により瀬峰川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体	宮城県
(2) 公表年月日	平成29年5月30日
(3) 告示番号	宮城県告示第537号
(4) 根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
(5) 対象となる水位周知河川	北上川水系瀬峰川(実地区間) 左岸:栗原市瀬峰川橋から小山田川への合流点まで 右岸:同上
(6) 算出の前提となる降雨	旧迫川流域の2日間総雨量 213mm
(7) 関係市町村	栗原市、登米市

